

# 三方五湖学習

## 三方五湖自然教室

### 「はす川の魚を観察しよう」

令和2年5月31日、はす川落合堰（若狭町藤井）において「はす川の魚を観察しよう」が開催され、県内の親子連れ17名が参加されました。

小雨模様のお天気の中、参加者はタモ網をもって川に入り、川の中や水際にいる生きものを捕まえました。みんなで捕まえた生きものは種類ごとにバケツやトレイに入れ、それぞれの生きものの特徴や見分け方について講師（龍谷大学・上西先生、ハスプロジェクト推進協議会・児玉さん）の説明を聞きながら観察をしました。



川に入って生きもの捕獲



生きものの特徴等についてのお話

# 三方五湖 ニュースレター



No. 22

令和2年8月1日発行



子どもラムサールクラブ・川の生きもの調査

### 目次

河川濁水調査の結果	…………… 1
子どもラムサールクラブ 生きもの調査	
田んぼでフナ・コイの稚魚育成の取組	…………… 2
三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち	…………… 3

### 自然再生関連会議等開催情報

- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
  - ・令和2年4月15日…実施者打合せ会
  - ・令和2年7月28日…部会会議
- ◆外来生物等対策部会
  - ・令和2年7月3日…部会会議
- ◆環境に優しい農法部会
  - ・令和2年7月16日…部会会議
- ◆シジミのなぎさ部会
  - ・令和2年7月7日…部会会議

最新情報は  
↓こちらから



### 三方五湖の自然とめぐみTOPICS

#### 今年ものぼりを立てて皆で取り組みます!



環境に優しい農法部会と湖と田んぼのつながり再生部会では、昨年度に引き続き、部会間の連携をはかりながら、水田からの濁り水の流出防止やフナ・コイの稚魚育成水田普及の取組を進めます。



#### 問合先

- 福井県安全環境部自然環境課  
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号  
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課  
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地  
TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課  
〔三方庁舎〕  
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地  
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室  
〔若狭三方縄文博物館内〕  
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1  
TEL 0770-45-2270

### 三方五湖のなかまたち

#### タイコウチ（タイコウチ科）

・池や沼、水田の浅い所に生息。腹端の呼吸管の先を水から出し呼吸する。肉食性で、水中の昆虫や、オタマジャクシなどを食べる。

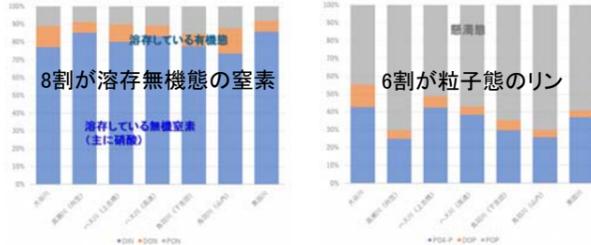


- ・体長：30～38mm
- ・5～6月にかけて産卵。
- ・成虫で冬を越す。
- ・前足を交互に動かし泳ぐ様子が、太鼓を打つように見えることが名前の由来。

このニュースレターは「令和2年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

# 河川濁水調査の結果

環境に優しい農法部会では、今年も春～初夏にかけて、三方湖及び久々子湖への流入河川の水質汚濁の状況を調査しました。昨年、水田の懸濁物質は代かき後3日程度でほとんどの濁り成分が沈殿することが明らかになりました。今年の調査では、河川間での窒素成分、リン成分の比較したところ、農地からの懸濁物質の流入が多く、その傾向は全体を通じて同様であることが明らかになりました。



窒素成分・リン成分の河川間比較

- ◆調査地点  
大谷川(下流側)  
はず川(高速道路下流側)  
はず川(上古橋)  
高瀬川(新幹線下流側)  
黒田川(はず川藤井橋付近)  
鳥羽川(天満橋)  
鳥羽川(山内橋)
- ◆調査期間  
4月上旬から6月上旬  
(10日おき)
- ◆調査項目  
懸濁物質濃度  
全リン濃度  
(機器トラブルで令和元年5月～6月分できず)  
全窒素濃度



分析等実施：福井県立大学 杉本准教授

# 子どもラムサールクラブ 久々子湖の砂浜にすむ生きもの調査

令和2年6月27日(土)、子どもラムサールクラブ第2回プログラムが実施されました。第2回のプログラムは、南西郷漁業協同組合の協力のもと、久々子湖で再生中の砂浜にて、ヨシとヨシ帯の生きものを観察しました。

クラブ員は、各々生きものを捕まえ、捕まえた生きものは種類ごとに分類しました。捕まえた生きもの名前や特徴について、福井県環境アドバイザーの小嶋明男氏、武田真澄美氏の解説を聞きました。また、南西郷漁協の武田豊組合長からは、久々子湖のシジミ漁や砂場造成の取組についてご説明いただきました。



久々子湖でのクラブ員による生きもの調査。協力しあいながら生きものを捕まえ、生きもの種類と数を記録しました。

# 三方湖にそそぐ河川にすむ生きもの調査

令和2年7月23日(日)に開催された、子どもラムサールクラブ第3回プログラムでは、三方湖にそそぐ別所川にて、福井県淡水魚研究会・松田隆喜さんと一緒に魚類を中心とした生きもの観察をしました。

はじめに水辺での活動の注意点を聞いたのち、クラブ員それぞれがタモ網を持って、水辺をガサガサ…。捕獲した魚類は種類ごとにケースに分け、水族館のように並べながら松田さんの解説を聞きました。クラブ員は、多様な魚類がすんでいることや減っていることを知り、身近な自然の自然再生に取り組むことの大切さも学びました。



三方湖にそそぐ別所川での観察の様子。クラブ員皆がそれぞれタモ網を持ち、石の裏や草陰に隠れる魚たちを探りました。

# 田んぼでフナ・コイの稚魚を育ててみませんか？

## 湖と田んぼのつながり再生 フナ・コイの水田養魚の取組

かつてから、三方五湖周辺の田んぼでは、春になるとフナやコイ、ナマズが田んぼに遡上し、産卵していました。しかし、近年では、田んぼと水路の高さに大きな差ができるなど、フナやコイなどが田んぼに遡上できない状況があります。

そこで、三方五湖周辺の田んぼでは、フナ、コイの生態をふまえ、水田におけるフナ・コイの稚魚育成(他地域からの種苗放流(フナ)に代わり、湖や川から採卵しふ化させた仔魚を水田で育て放流する)により、フナ・コイを増やす取組が進められています。

### ◆令和2年度の成果・その1

#### 育成田への協力者及び面積の増加！

令和2年7月21日現在、三方五湖流域では、30か所・46,551㎡(概算)・14個人団体の水田において稚魚育成の取組が展開されています。

◇令和2年度育成田の取組団体・農業者(敬称略・順不同)  
鳥浜漁業協同組合、海山漁業協同組合、美しい鳥浜を創る会、成願寺水土里会、板場綱枝(向笠)、石地優(気山)、三方小学校、榎本康博(三方)、泉水の里いざき《増》、秋山佳也(藤井《増》)、坪田安弘(三方《新》)、岡林武彦(三方《新》)、小堀義信(鳥浜《新》)、兼松一郎(生倉《新》)

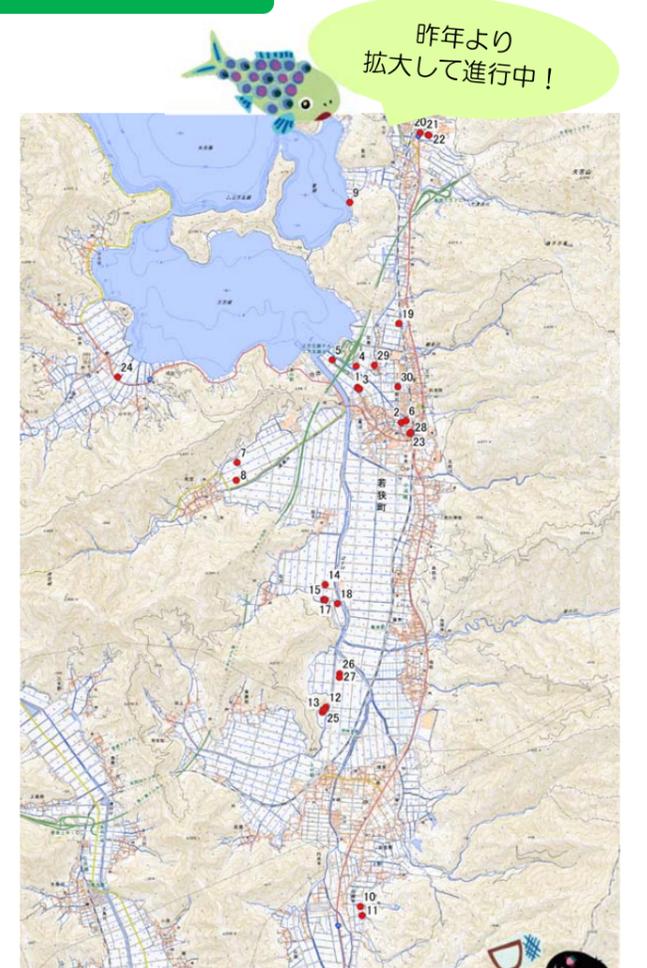
《増》取組面積増加 《新》R2年新規取組者

### ◆令和2年度の成果・その2

#### 海山漁協・育成田でのフナの増殖が目標増殖量の約3.5倍を達成！

海山漁協の育成田における稚魚育成量	令和2年度		令和元年度	
	フナ	コイ	フナ	コイ
目標増殖量(kg)	30	—	45	—
養魚田実績(kg)	103.6	5.5	71.6	35.7

※コイは目標増殖量の設定なし



### ◆フナ・コイの育成水田大募集！！

フナ・コイの卵や稚魚を收容し、フナ・コイを育ててみたい方は、若狭町環境安全課まで、どうぞお気軽にお問い合わせください！

田んぼへ卵や稚魚を收容した後は、水位を保っていただく以外、何もすることはありません！



湖と田んぼのつながり再生部会では、水田でのフナ・コイの稚魚育成技術を確認し、研究者や漁業協同組合等の協働の取組により収集した稚魚育成データや育成ノウハウをとりまとめた『水田での稚魚育成マニュアル』を作成しています。

